

胃内視鏡検査に関してのお知らせ

◎胃内視鏡検査では柔軟なファイバースコープを口から挿入し、食道・胃・十二指腸を約 10 分程度で観察する検査です。この検査で悪性を否定できない所見を認めた際には、小さなサンプルを採取することにより、**生体検査（細胞組織診断）**が可能です。

当院では検査を楽に受けられるように、また検査の精度を向上させるため、**原則として鎮静剤を使用しております**。このため**検査後、鎮静剤の影響がなくなるのを確認するため、数十分お休みいただいております**。

◎検査を受けるための注意

1. 検査前日の夜 9 時から検査終了まで絶食です。
血管確保のため、水・お茶は検査当日、しっかり飲んで下さい。
2. 検査当日の朝に常用薬のある方は、**内服薬をご持参頂き、検査終了後に内服して下さい**。
ご心配な方は主治医に予め相談して下さい。
3. 検査当日の体調が思わしくない時には、事前に申し出て下さい。
4. 検査で使用する薬の可否を判断するため、アレルギー体質、または心臓・眼（閉塞隅角緑内障と診断されている方）・前立腺の病気で治療を受けている方は看護師に申し出て下さい。
5. 検査にあたり原則として鎮静剤を使用します。当日は**乗り物を運転して来院することは控えて下さい**。
6. **義歯は検査の際にはずして頂きますので、義歯ケースをご持参下さい**。

◎検査終了後の注意

1. 検査後、約 1 時間は飲食を控えて下さい。
2. 生検をした時は約 2 時間、飲食を控えて下さい。
3. 生検をした方で、局所からの出血を予防する為にも、当日はアルコール・激しい運動は控えて下さい。
4. **検査終了後、気分が悪く、異常を感じた時には来院するか、電話で連絡ください**。

※検査当日にこの用紙を受付に提出して下さい。

※予約の取り消し、変更の場合は前日の午前中までにご連絡ください。

東京港診療所 03-3451-4620

◎生体検査（細胞組織診断）について

1. 同じ消化器がんを発見するにしても、腫瘍が小さければ小さいほど、より早期であればあるほど、完全に治癒できる可能性は高くなります。
2. 内視鏡の進歩により、今まで開腹術を行っていたような症例でも、内視鏡的治療が可能となってきました。しかし、微小な早期癌は胃炎との鑑別が難しい場合が少なくなく、その確定診断には内視鏡検査時に病変の一部を採取し、それを顕微鏡下に調べる細胞検査（生体検査）が必要になります。

下記のいずれかに○印をつけて下さい。

【 】 生検検査を希望しない（後日再検査が必要になります）

【 】 検査担当医の判断に任せる。

_____ 年 月 日 署名

※重要※緊急時連絡先を記載して下さい： _____